

ネット認証ライセンス(占有)の認証を自動解除しない方法

ネット認証ライセンス(占有)の認証にはインターネットへの接続環境が必要ですが、**現場によってはインターネットに接続できない場合があります。**

この場合以下の方法で**ネット認証ライセンスの認証を自動解除しない**ように設定すると、現場でも引き続きプログラムを使用することができます。(※認証の有効期限は、30日です)

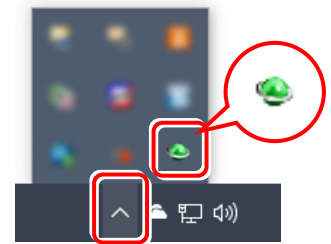
1 ネット認証ライセンスを認証状態にする

まず現場にコンピューターを持ち出す前に、ネット認証ライセンス(占有)を認証状態にします。

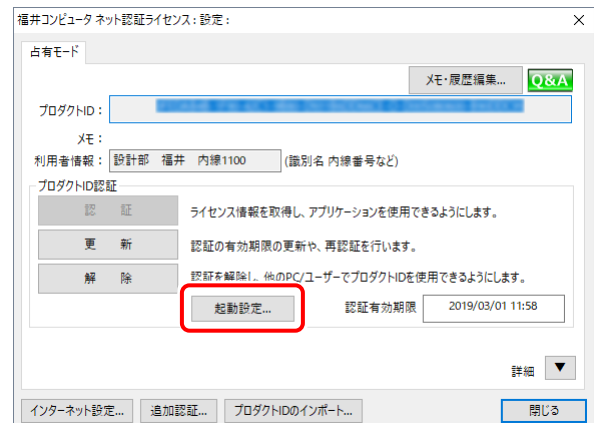
1. 現場でお使いになるプログラムを起動します。
2. プログラムが起動されたら、その状態のまま、次の「ネット認証ライセンスの設定を変更する」に進みます。

2 ネット認証ライセンスの設定を変更する

1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



2. [起動設定]をクリックします。



3. 「ライセンスの認証と解除の設定」の画面が表示されます。

この設定を後で元に戻したい場合は、**メモなどに残して覚えておいてください。**



4. 右画面のように、設定を変更して[OK]をクリックします。

[自動認証時の設定]は、「しない(手動)」を選択
[自動解除時の設定]は、すべてチェックOFF



5. [閉じる]をクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を閉じます。

以上で**ネット認証ライセンスの認証を自動解除しない設定**は完了です。

あらかじめ認証しておくことで、インターネットに接続できない現場にコンピューターを持ち出しても、プログラムを使用することができます。

認証の有効期限は30日です。その期限を越える場合は、インターネットへの接続ができる環境で、認証の「更新」を行ってください。

現場から戻り、元の設定に戻したい場合は、同様の手順で設定を変更してください。

